

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

たんぽぽ療育教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	身体に障害のある人は受け入れていないため、これまでのところ支障はない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の業務の前後にスタッフ間で利用者に関する情報交換をすることで、情報共有を図っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の配布・回収を経て得られた情報や、普段連絡を取り合う際に情報交換の機会の確保をするなかで得た情報を日々の活動内容へ反映している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			○	取り入れているメソッドの考え方に沿った形でプログラムの大まかな方向性が固定化してしまうものの、状態の良し悪し等に応じて役割や難易、負荷を調整しながら取り組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学習において普段の活動の中で行う内容を踏まえ、ご家庭でも取り組める内容のものを宿題として提供させていただいている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	メソッドにおいて集団活動が最も大事だとされているため、基本的には集団活動を前提とした計画作成となるが、個々人の状態に応じて

					適宜個別の活動に切り替える対応を採っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアの必要な子は受け入れを行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者からの聞き取りにより情報を共有させてもらい、普段の様子の把握に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	これまでデイサービスを受ける年代を過ぎた子に関しては引き続き同法人内のサービスに移行することが多く、内部での情報共有にとどまっている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		直接会っての方法は難しいが、電話等で定期的に機会を設けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	資料の配布や電話・メールでの支援に努め、特に新規で入られた利用者の保護者については可能な限り見学対応なども行っている。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	保護者から相談をいただいた場合にはメソッドに基づいた場合の対応を説明させていただくなどを交えながら、普段の活動で気付いた点をこちらから投げかけることもある。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	毎月の予定表配布の際に予定表への説明の記載と併せ口頭でも説明し案内を行っている。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○		
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	努めてはいるが、十分とは言えない部分がある。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	職員間での周知は行っているが、保護者への周知徹底は必ずしも十分にはしていない。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	該当者が利用者の中にないため、これまで特別な対応は行ってきていない。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			こちらが直接医師とやり取りを行うことはないが、保護者を通して医師の指示を受け、それに基づいて対応を行っている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			